



## 1 情報セキュリティ学ぶ高校生



茨城県警察本部生活安全部サイバー企画課の山村一起氏の講演風景



ペンギンシステム株式会社の八尾英成氏の講演風景



高校生の協議風景

10月10日(金)、県立つくばサイエンス高等学校の1年生を対象とした「キャリアセッション：未来社会を創る高校生」(いばらきP-TECH「事業」)を実施しました。

講師は、茨城県警察本部 生活安全部サイバー企画課の山村一起氏、ペンギンシステム株式会社の八尾英成氏です。第一線で活躍する情報セキュリティの専門家の講話を通して、次代を担う高校生が、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を高めるため取り組みです。この後、グループ協議が行われました。

高校生からは「大手企業へのサイバー攻撃もあり、情報セキュリティの意識を高めていきたい」、「具体的なお話を聞いたので活かしていきたい」との感想を発表していました。

## 2 企業実習 成果語る学生達

8月に実施した企業実習の報告会が9月18日(木)に実施されました。この日、5人の学生が報告しました。企業実習を体験した坂本琴子さん(鹿島高卒)は「課題実習を進める中で、何度もエラーになることがありましたが、先輩が優しくサポートしてくれたので課題を完成することが出来ました」と笑顔で振返っていました。

【生産管理】  
(株)ユードム 山中悠梨音さん

【情報セキュリティ】  
(株)NESI 清水響暉さん  
(株)ソフィア 坂本琴子さん  
岡田板金(株) 薬師川颯太さん

【情報システム】  
NAIS(株) 飛田美優さん



企業実習の成果を報告する学生達

## 3 『記事トレ』 紹介



本校では、IT専門力に加え社会人基礎力の向上のため『記事トレ』を実施しています。新聞を読み、要約とIT技術者としての感想を書くトレーニングを通して読み解く力を育成します。

<記事トレ>茨城新聞(2025年9月30日)

SNS時代こそ言葉を大切に

●山中咲季さん(多賀高卒)

◇要約：人生で必須のスキルとなるファクトチェックの知識を学ぶための授業が高校で実施されている。情報活用能力が向上できれば情報の真偽に関する社会問題の解決に繋がるかもしれない。早い段階で真偽を見分ける力を身に付けることが重要である。  
◇感想：私も調べるときに、SNSだけで真偽を見極めることが出来ていないと思った。この記事を読んでこれからの調べものするときは、紙やデジタルの情報をベストミックスしていきたいと思った。そうした過程で、情報リテラシーも高めていきたい。

●渡邊正史さん(水戸葵陵高卒)

◇感想：情報過多である現在において、ファクトチェックは必要不可欠だと思う。そのため、新たな事象に向き合う入り口として、確かな情報を得ることは大切である。

IT技術者にとって、誤った情報と正しい情報を見極められるようなスキルが必須になっていると思う。

●黒澤麻衣さん(佐和高卒)

◇感想：SNSが広がり嘘の情報が増え、ファクトチェックが必要になっている。高校の授業でそれをテーマに学ぶ力を付けているのは凄いと思った。IT技術者は情報を扱っていくので、情報が確かなものかしっかりチェックするようにしていきたい。

●間宮一輝さん(水戸南高卒)

◇感想：図書館を活用し、デジタルとアナログ情報のベストミックスを学ぶのはいい授業だと感じた。図書資料とデジタル情報を集め課題解決のためのアプリケーション開発も進めておりとても良いと思った。

私もアプリケーション開発に当たっては、図書館の活用も視野に入れていきたい。

●飯田星矢さん(取手二高卒)

◇感想：SNSの普及によって様々な情報が世間で混濁しており、情報リテラシーが重要である。ファクトチェックは必要不可欠となっている。多くの学校でもSNSの利用等、具体的な授業を行い情報リテラシーを身につけるべきだと思う。

